成田市こども発達支援センター（児童発達支援）

支援プログラム

作成年月日：令和 7 年 3 月 13 日

基本情報	法人理念	療育や相談活動を通して、心身に障がいや遅れのあるこどもの発達を援助する。保護者の育児支援を行う。
	支援方針	1. こどもたちの豊かに発達する無限の可能性を信じ、その力が十分に発揮できるよう療育知識の普及啓発等に努めます。 2. サービス提供にあたって次の2点を柱としています。 ① 親子関係を中心に集団を通して個の育ちを大切にします。 ② 地域との交流を通し社会性を養います。
	営業時間	開所日：国民の祝日、年末年始、土を除く平日 開所時間 8:30～17:00
	送迎の有無	有り（自宅近隣まで、条件有り）

項目	支援内容	具体的な活動や取り組み
本人支援	健康・生活 (a)健康状態の把握 (b)健康の増進 (c)リハビリテーションの実施 (d)基本的生活スキルの獲得 (e)構造化等により生活環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時の視診・検温を行う ・看護師による毎月の身体計測を行う ・排泄・食事の自立に向けた取り組みを支援する ・着脱などの日常生活動作の獲得のための指導を行う ・身辺自立を目的とした支度表を導入する
	運動・感覚 (a)姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 (b)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 (c)身体の移動能力の向上 (d)保有する感覚の活用 (e)感覚の補助及び代行手段の活用 (f)感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊び（サーキット遊び等の粗大な運動課題や感覚統合の視点をういた課題等）を提供する ・造形遊び（道具を使う制作活動や小麦粉粘土等の巧緻運動の課題等）を提供する ・体操、乾布摩擦等による体性感覚の入力を図る ・身体状況に合わせて椅子や机を加工する ・個別理学療法・作業療法を実施する
	認知・行動 (a)感覚や認知の活用 (b)知覚から行動への認知過程の発達 (c)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 (d)数量、大小、色等の習得 (e)認知の偏りへの対応 (f)行動障がいへの予防及び対応	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会、帰りの会（歌、手遊び、弁別課題、パネルシアターや絵本の読み聞かせ等）を実施する ・小集団療育での適切な行動形成を援助する ・教材や知育玩具を使った個別課題を提供する ・療育環境の設定やプログラム等の構造化をする
	言語・コミュニケーション (a)言語の形成と活用 (b)受容言語と表出言語の支援 (c)人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 (d)指差し、身振り、サイン等の活用 (e)読み書き能力の向上のための支援 (f)コミュニケーション機器の活用 (g)手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会（呼名応答、クイズや書字課題等）を提供する ・健口体操を実施する ・音楽遊び（楽器を用いた自己表現やリトミック等）を提供する ・文字、記号、絵カード等の活用による視覚化を実施する ・マカトンサインの活用等の非言語性のコミュニケーションを提案・活用する ・個別言語療法を実施する
	人間関係・社会性 (a)アタッチメント（愛着行動）の形成 (b)模倣行動の支援 (c)感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 (d)一人遊びから協同遊びへの支援 (e)自己の理解とコントロールのための支援 (f)集団への参加への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい遊び、スキンシップ遊びを提供する ・自由遊び（玩具コーナー、園庭遊び等）を提供する ・やりとり遊び（協同遊びや役割分担のある遊び等）を提供する ・当番活動による自己表出や他者意識の構築を図る ・ABAを基にした働きかけで、適切な行動を引き出す
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園を基本とし、その中でこどもの発達・特性・支援の在り方等への理解を深める。 ・月末に当該月の療育に対するフィードバックを行い、こどもの成長・課題等への共通認識を図る。 ・個別支援計画作成のための面談を年2回行い、保護者の意向や目標、療育活動の成果を確認する。 ・保護者向けの勉強会やペアレントトレーニング等を実施し、家族の知識の習得や気づきを援助する。 ・親子分離の時間を設け、保護者交流の機会とする。また単独通園（条件有り）を実施し、レスパイトの機会とする。 	
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公立保育園との交流の機会を設け、就園後の生活を体験する機会を持つ。 ・併用園訪問や保育所等訪問支援を実施し、援助方針や支援内容を共有し、保育園等での生活の充実を図る。 ・就学説明会や先輩就学児童の保護者と話す機会を設ける。また就学相談へ向けた心理発達検査を実施する。 ・学校等への引継書や個別指導報告書を作成し、就園・就学時の切れ目ない支援に繋げる。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関や教育機関（小学校・支援学校等）、福祉（児童発達支援、相談支援事業所）、親の会等との連携を図る。 ・医療機関等との連携会議（成田赤十字病院、国際医療福祉大学成田病院）へ参加し、連携を図る。 ・成田市地域自立協議会（相談支援部会、児童部会）へ参加し、地域の事業所との連携を図る。 ・保育課主催の保育士年齢別勉強会へ講師を派遣し、保育士の質の向上を支援する。 ・保育園、幼稚園等への訪問支援を実施し、クラス運営等についての助言・提案を行う。 	
職員の質の向上に資する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関主催の研修（千葉県教育センター、心身障害児総合医療療育センター、千葉県発達障害者支援センター等）への参加。 ・SV・外部講師による療育への助言・指導。 ・事業所内研修の実施。 	
主な行事	<p>(本人支援に関連する行事) パクパク教室（年2日、6月・12月）、ピカピカ教室（年4日）、フッ化物塗布（年5日）、摂食指導（年4回）、園外保育（11月）、クリスマス会（12月）、入学を祝う会（3月）</p> <p>(移行支援に関連する行事) 保育園交流（年8回）</p> <p>(家族支援に関連する行事) 保護者向け勉強会（作業療法・言語療法・サポートファイル等 各年1回）、就学に関する説明会（年1回）、父親保育（6月・1月）、ファミリーDAY（10月）</p> <p>(その他の行事) 避難訓練（年2回）</p>	